



2026 年 9 月 18 日

各 位

会 社 名 株式会社ＣＳ－Ｃ
代表者名 代表取締役社長 相原 健
(コード：9258、東証グロース市場)
問合せ先 執行役員管理本部長 金城 一樹
(TEL. 03-5730-1110)

特別損失の計上（連結・個別）及び2026年9月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2026 年 9 月期（2025 年 10 月 1 日～2026 年 9 月 30 日）の連結及び個別決算において、下記のとおり特別損失を計上する見込みとなりました。また、2025 年 11 月 14 日に公表した通期連結業績予想について、下記のとおり修正することとしましたので、併せてお知らせいたします。

1. 特別損失の計上

（１）「JAPAN FOOD GUIDE」に係る減損損失の計上（連結・個別）

当社が 2024 年 4 月 15 日に提供を開始したインバウンド向け飲食店・食体験予約サービス「JAPAN FOOD GUIDE」について、現時点において収益化に至っていないことから、今後の収益性を踏まえ、新規店舗の積極的な獲得活動を停止し、既存店舗の運営を継続する形へ事業規模を縮小することといたしました。

これに伴い、当該事業に係る無形固定資産について、事業縮小を踏まえて将来キャッシュ・フローを見直した結果、回収可能価額が帳簿価額を下回ったため、2026 年 9 月期第 4 四半期の連結及び個別決算において、減損損失 78 百万円を特別損失として計上する見込みです。

（２）株式会社ＣＳ－Ｒに対する貸倒引当金繰入額の計上（個別）

当社の連結子会社である株式会社ＣＳ－Ｒに対する貸付金に係る貸倒引当金繰入額について、同社の財政状態及び回収可能性等を勘案した結果、2026 年 9 月期の個別決算において、貸倒引当金繰入額 80 百万円を特別損失として計上する見込みです。

（３）関係会社株式評価損の計上（個別）

当社が保有する株式会社ＣＳ－Ｒの株式について、同社の財政状態等を踏まえ、実質価額が著しく低下したことから、回復可能性を検討した結果、減損処理を行い、2026 年 9 月期の個別決算において、関係会社株式評価損 60 百万円を特別損失として計上する見込みです。

（４）連結業績への影響

上記（２）及び（３）の特別損失（合計 140 百万円）は、当社の個別決算において計上されるものであり、連結決算上は消去されるため、2026 年 9 月期の連結業績に与える影響はありません。

2. 2026 年 9 月期通期連結業績予想の修正（2025 年 10 月 1 日～2026 年 9 月 30 日）

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に 帰属する当期 純利益	1 株当たり 連結当期純利 益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	3,626	△70	△68	△69	△10.40
今回修正予想（B）	4,109	△215	△205	△303	△45.53
増 減 額（B－A）	483	△145	△137	△234	△35.13
増 減 率（％）	13.3	—	—	—	—
（ご参考）前期実績 （2025 年 9 月期）	3,178	△76	△72	△102	△15.39

3. 修正の理由

2026 年 9 月期通期連結業績における売上高につきましては、主として M&A により株式会社ごつつ及び perzik 株式会社を連結子会社化したことに伴う売上高の増加に加え、マーケティング支援サービスが堅調に拡大したこと等により、前回発表予想を 483 百万円（13.3％）上回る 4,109 百万円となる見込みです。

一方で、利益面においては、リアル店舗事業の新規出店に係る初期投資及び M&A に伴う一過性費用の発生により 70 百万円、マーケティング支援事業において原価率の高いサービスの売上増加に伴う売上原価の増加により 30 百万円の費用増加が見込まれること等から、営業利益は前回発表予想を 145 百万円下回る△215 百万円、経常利益は前回発表予想を 137 百万円下回る△205 百万円となる見込みです。

また、親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、経常利益の減少に加え、「JAPAN FOOD GUIDE」に係る減損損失 78 百万円を特別損失として計上する見込みとなったこと、及び法人税等の影響等を考慮した結果、前回発表予想を 234 百万円下回る△303 百万円となる見込みです。

なお、個別決算において計上する株式会社 C S－R に対する貸倒引当金繰入額及び同社株式に係る関係会社株式評価損については、連結決算上消去されるため、2026 年 9 月期の連結業績予想には影響していません。

※本資料に記載した業績予想等につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因により予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以 上